

よくある質問にお答えします

Q:加害者は変わりますか?

変わったかどうかを評価できるのは被害者であるパートナーだけです。また、何を基準に変わった、とするのかにもよります。プログラムを続ければ、身体的暴力やあからさまな威圧などはなくなる場合が多いです。人は変われます。ただ時間がかかります。

Q:なぜDVをするのですか?DVは治りますか?

治るか治らないかの問題ではありません。なぜならDVは病気ではないからです。遺伝、アルコール依存、精神疾患などが原因で起こるものでもありません。DV行為は加害者が選んだものです。DVは、育った環境から学んだ「力と支配」、「ジェンダー規範」、「暴力容認」の意識と「ジェンダー不平等」の社会構造が生み出している問題です。

Q:どこからでも参加できますか?

アウェアの加害者プログラムはオンラインで実施しているので、全国どこからでも参加できます。いつでも参加できます。

参加を希望する方には事前面談を3回受けていただきます。1回の面談は約1時間で料金は8,000、パートナーへの面談は約2時間で料金は1万円です。パートナー面談費用は男性にお支払いいただけます。

お問合せ
申込フォームは [こちらへ](#)



DVかな?と思ったら...

勧めてください

加害者プログラム参加の流れ

事前面談の予約 問合せフォームより

事前面談1回目(1時間 8,000円)
加害者ご本人お一人で

事前面談2回目(1時間 8,000円)
加害者ご本人お一人で

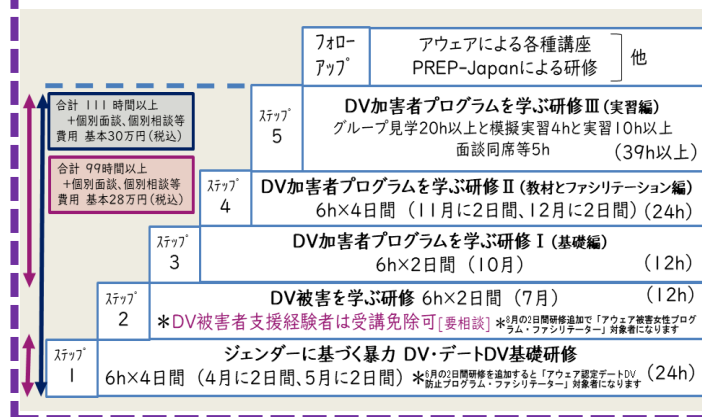
パートナー面談(2時間 10,000円)
パートナーである被害者女性一人で
費用は加害者ご本人がご負担ください

プログラムの参加のパートナーの同意を経て
事前面談3回目(1時間 8,000円)
加害者ご本人がお一人で

グループへ参加(毎回2時間 3,000円)

ファシリテーター養成も

オンラインで行っています



DV加害者プログラム

~被害者が逃げるだけではない選択肢を~

加害者プログラムは

被害者(パートナー&子ども)を

支援するためにあります

アウェアは、ジェンダー平等に基づく
各種プログラムを提供しています

アウェアとは英語で
「気づく」という意味です



問い合わせ先: info@aware-jp.com
ホームページ: <https://aware-jp.com>



アウェアのDV加害者プログラムの特徴

教育プログラム

- ・カリフォルニア州認定のプログラムを応用
 - ・治療でも、カウンセリングでもない
 - ・グループで行う教育と訓練
 - ・1回2時間の講座を52回以上通うこと
- 卒業はありません。唯一パートナーだけが「卒業」を認めることができます。

プログラムの目的

- ・DVはジェンダーに基づく暴力であり「犯罪」であると自覚する
- ・DVは「相手を支配するため」に手段として「自分が選択した行為である」ことに気づいてやめる
- ・ジェンダー不平等の価値観に気づく
- ・社会と個人の双方にあるジェンダー不平等に気づき、性別役割についての思い込みを変える
- ・DVした結果に向き合ってその責任をとる
- ・相手を尊重する方法を学び実行する
- ・暴力ではない他の方法を使えるように学ぶ

プログラムの対象者

DV加害男性で

- ・DVをやめたいという意識を持つ人
- ・精神疾患がない人
- ・パートナー面談が可能な人
(参加にはパートナーの同意が必要です)
- ・パートナーがアウェアの女性プログラムを受けることに協力できる人

ジェンダー平等・公正社会をめざして

アウェアの加害者プログラムは、DVに苦しむ被害女性と、DV家庭にいる子どもたちのためのものです。被害者の安全を確保し、被害者が自分の人生を歩んでいくチカラを取り戻す支援の一環として実施しています。

DVは、加害者がこの社会で学んで身につけたゆがんだ価値観、考え方、行動パターンの問題です。学んだことは本人が決断すれば「学び落とす」(unlearn)ことができます。

プログラムで学ぶこと・話し合うこと

- ・DVはジェンダーに基づく暴力で「力と支配」であること
- ・DVは犯罪であること
- ・「力と支配」の輪
- ・「対等・平等」の輪
- ・暴力は自分の選択であること
- ・支配のために使われる暴力の種類
- ・男性の特権意識
- ・怒りをもたらす考え
- ・自分のDVが相手に与えた影響とダメージ
- ・相手を尊重すること
- ・子どもへの影響
- ・非暴力でジェンダー平等の子育て
- ・相手を尊重する聞き方
- ・共感 など



受講加害者の声

- 最初は回数こなして早く辞めたい、そればかり考えていました。でも通い続けたらだんだん「人として未熟なのかも」と思うようになり、パートナーを傷つけたことにも気がつき始めました。
- 事前面談のDV行為チェックリストで、パートナーがチェックした項目数と、自分のものがあまりに違ってビックリしました。自分のやったことを都合よく忘れていたようです。相手にどれほどのダメージを与えていたのか気づかされました。

被害者であるパートナーの声

別居しても、私の心の中に夫が住んでいて、夫目線でものごとを見るくせが抜けずに苦しんでいました。楽しいはずのことも楽しめなくて…。
1年経ったある日「なんで私、自転車のサドルを高いままにして、つま先立ちして乗っているのだろう？」ってハッとしました。自転車のサドルを背の高い夫の高さに合わせたままにして苦しんでいたのです。「謎の支配」です。自分を守るために感情も思考も鈍化させていたのだと思います。



『愛を言い訳にする人たち DV加害者700人の告白』

アウェアに面談にきた人と加害者プログラムの参加者、合わせて700人の男性が語ったことをもとに、DVの本質と加害者の実体を明らかにした本
1900円+税 梨の木舎



『DV加害者プログラム資料集』

米国カリフォルニア州のDV加害者プログラム・ファシリテーターたちの知恵と工夫が結集した資料集
4000円+税 アウェア翻訳・発行